

2022年12月期 第3四半期 決算説明資料

2022年11月8日
サイバーコム株式会社
東証スタンダード<3852>

1. 決算概要	P 3
2. 営業利益増減分析	P 4
3. セグメント別業績	P 5
4. 貸借対照表	P 6
5. 参考情報		
(1) セグメント別売上高	P 7
(2) 顧客別売上構成比	P 8
(3) プロダクトのご紹介	P 9
(4) サステナビリティへの取り組み	P 10
(5) 業績予想	P 11
(6) 配当の状況	P 12
(7) 自己資本当期純利益率	P 13
(8) 中期業績予想	P 14
(9) 会社概要	P 15
(10) これまでの歩み	P 16

1. 決算概要

2022年12月期 第3四半期実績（前期比較）

（単位：百万円）

	前年同期 (21/01-21/09)	当期 第3四半期 (22/01-22/09)	増減／増減比	
売上高	11,421	12,394	973	+8.5%
営業利益	851	983	131	+15.4%
営業利益率	7.5%	7.9%	—	—
経常利益	868	996	128	+14.8%
経常利益率	7.6%	8.0%	—	—
四半期純利益	597	686	88	+14.9%
四半期純利益率	5.2%	5.5%	—	—
1株当たり 四半期純利益	74.45円	85.54円	11.09円	—
ROE (自己資本当期純利益率)	10.5%	10.9%	—	—

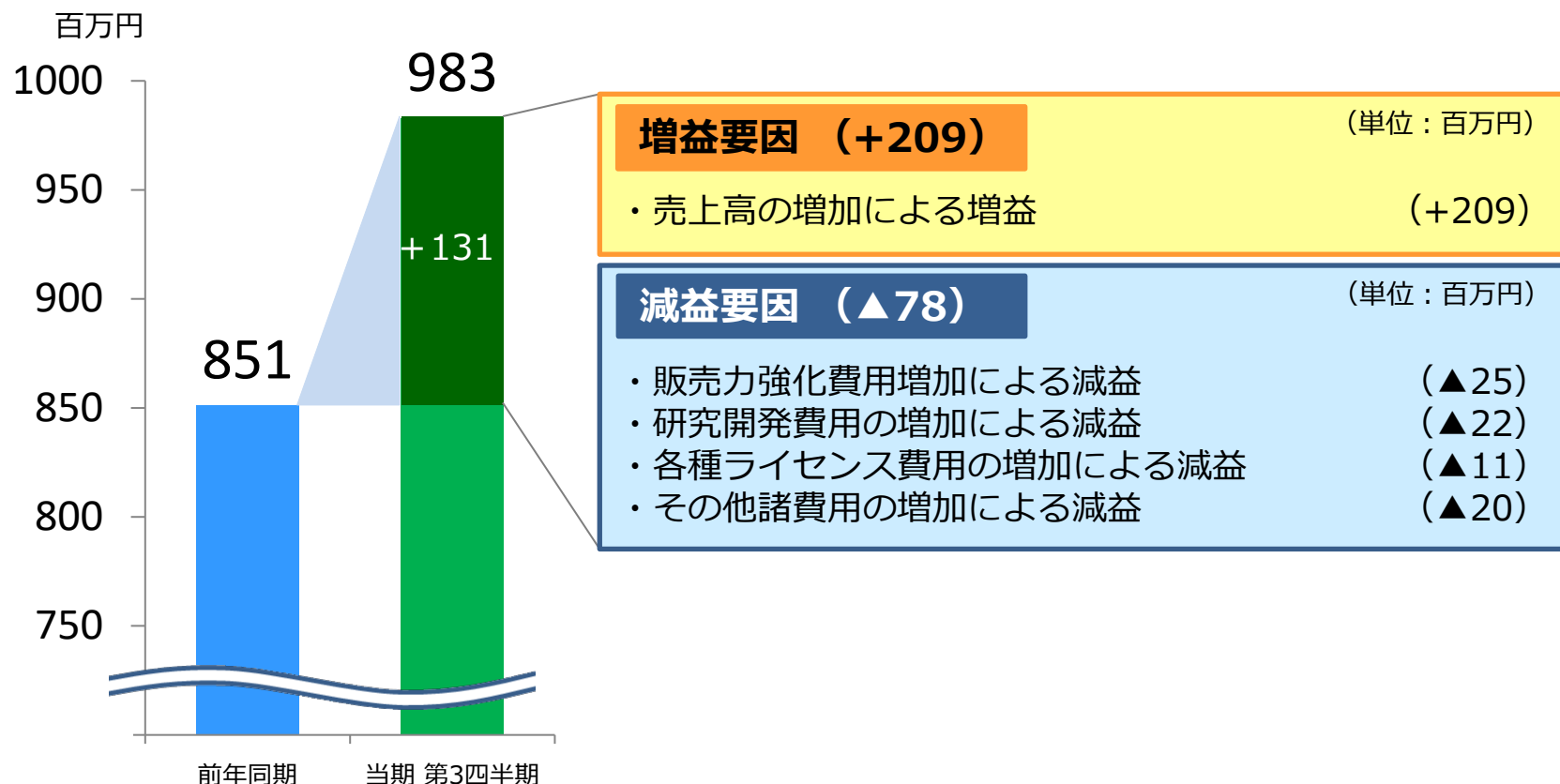
◇売上高は、主力のソフトウェア開発事業で制御ソフトウェア開発及び業務ソフトウェア開発が好調に推移したことに加え、サービス事業も堅調に推移したことから123億94百万円（前年同期比8.5%増）と増収になりました。

◇営業利益は、増収効果により9億83百万円（前年同期比15.4%増）と増益になりました。

◇四半期純利益は、6億86百万円（前年同期比14.9%増）と増益になりました。

2. 営業利益増減分析

2022年12月期 第3四半期実績



◇営業利益の増加要因

販売力強化費用や研究開発費用等の増加があったものの、増収効果により前年同期に比べ増益となりました。

3. セグメント別業績

2022年12月期 第3四半期セグメント別売上高・営業利益

(単位：百万円)

	売上高				セグメント利益または損失			
	実績	構成比	前同差	前同比	実績	利益率	前同差	前同比
ソフトウェア開発事業	9,778	78.9%	790	+8.8%	1,663	17.0%	274	+19.7%
通信ソフトウェア開発	2,067	16.7%	▲321	▲13.5%	280	13.6%	▲46	▲14.2%
制御ソフトウェア開発	2,278	18.4%	346	+17.9%	401	17.6%	94	+30.8%
業務ソフトウェア開発	5,432	43.8%	766	+16.4%	981	18.1%	225	+29.9%
サービス事業	2,596	20.9%	182	+7.6%	380	14.6%	49	+15.0%
ファシリティ事業	20	0.2%	0	+0.2%	6	31.7%	0	+12.7%
本社調整 (※)	-	-	-	-	▲1,067	-	-	-
合計	12,394	100.0%	973	+8.5%	983	7.9%	131	+15.4%

※「セグメント利益または損失」の本社調整は、各セグメントに帰属しない全社費用であり、主に販売費及び一般管理費であります。

- ◇通信ソフトウェア開発は、一部作業開発案件が一巡したことによる反動減があり、売上高は前年同期比13.5%減、セグメント利益は前年同期比14.2%減と**減収・減益**になりました。
- ◇制御ソフトウェア開発は、プリンタ用ドライバ開発、車載システム開発案件等の作業規模拡大により好調に推移し、売上高は前年同期比17.9%増、セグメント利益は前年同期比30.8%増と**増収・増益**になりました。
- ◇業務ソフトウェア開発は、金融系システム、公共系システム、流通系システム等の作業規模拡大により好調に推移し、売上高は前年同期比16.4%増、セグメント利益は前年同期比29.9%増と**増収・増益**になりました。
- ◇サービス事業は、売上高が前年同期比7.6%増、セグメント利益が前年同期比15.0%増と**増収・増益**になりました。SIサービスにおいて社会インフラ及び金融系を中心とした仮想化やクラウドへの移行案件、ネットワーク構築案件が堅調に推移し、第5世代移動通信（5G）の基地局検証案件が好調に推移しました。また、自社プロダクトにおいても年間保守やクラウド使用料等の増加により堅調に推移しました。

4. 貸借対照表

貸借対照表のポイント（前期末比較）

（単位：百万円）

	前期末 2021/12	第3四半期末 2022/09	前期末差
流動資産	7,502	6,370	▲1,131
現金及び預金	912	1,746	833
受取手形及び売掛金	3,509	-	▲3,509
受取手形、売掛金及び契約資産	-	3,371	3,371
有価証券	0	1,000	1,000
商品	6	9	2
仕掛品	88	76	▲11
短期貸付金	2,842	0	▲2,841
その他	142	166	23
固定資産	3,635	3,419	▲215
有形固定資産	2,478	2,442	▲35
無形固定資産	18	14	▲3
その他	1,138	962	▲176
資産合計	11,137	9,790	▲1,346
流動負債	2,765	1,767	▲997
買掛金	598	619	21
未払費用	504	289	▲215
未払法人税等	430	8	▲421
賞与引当金	722	380	▲342
役員賞与引当金	28	24	▲4
その他	480	445	▲34
固定負債	2,326	1,452	▲874
退職給付引当金	2,288	1,408	▲880
役員退職慰労引当金	38	43	5
負債合計	5,092	3,220	▲1,872
純資産合計	6,044	6,570	525
負債純資産合計	11,137	9,790	▲1,346

主な増減要因

- ① 合同運用指定金銭信託での資金運用開始による増加
- ② CMSでの資金運用休止による減少
- ③ 法人税等納付による減少
- ④ 退職給付信託の設定による減少

※ CMSとはキャッシュ・マネジメント・システムの略称であり、当社では富士ソフト株式会社に余剰資金の貸付を行っておりました。

◇ご参考

	2021年12月末	2022年9月末
1株当たり純資産	753.64円	819.18円
自己資本比率	54.3%	67.1%

5. 参考情報 (1) セグメント別売上高

セグメント別売上高

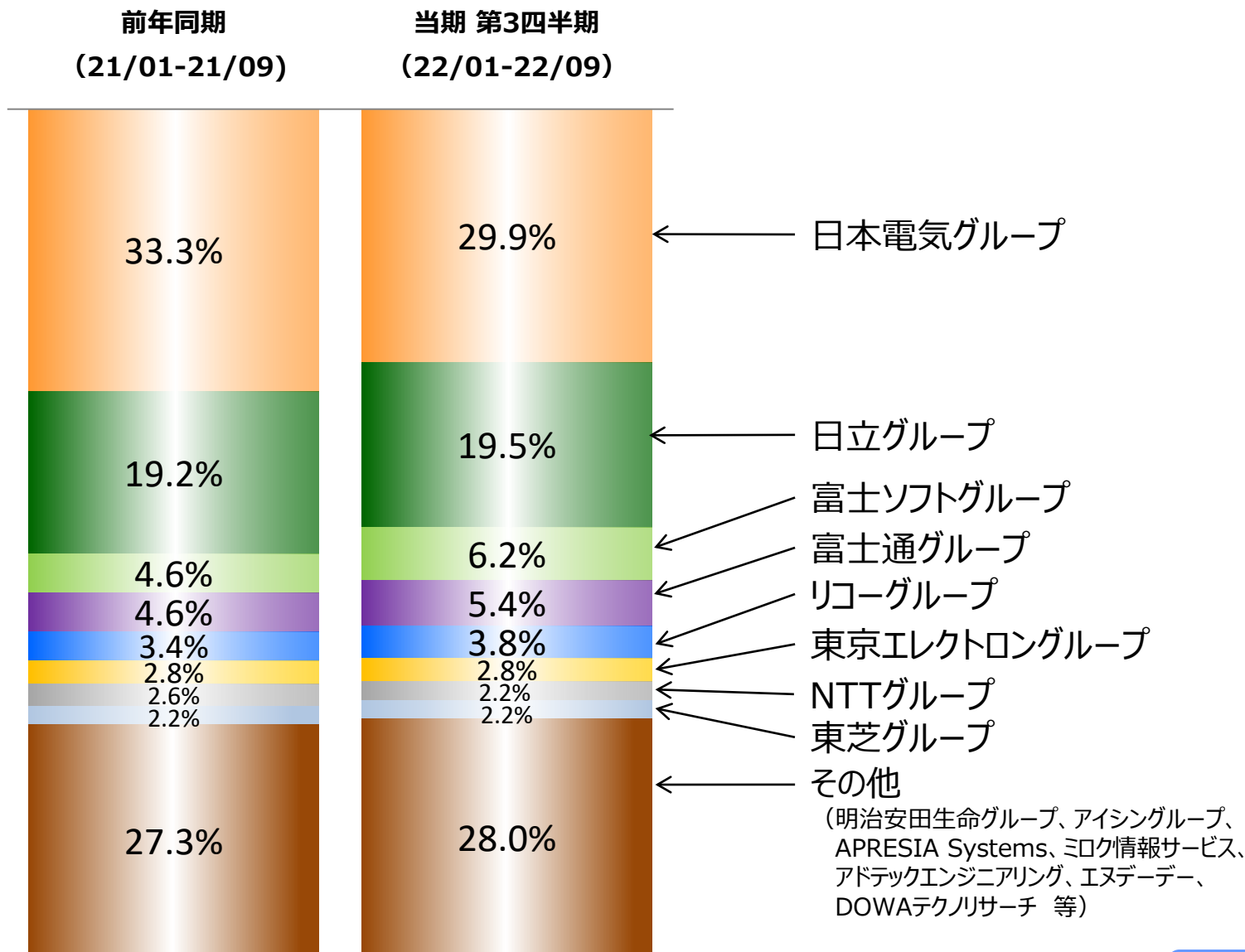
(単位：百万円)

	2021年12月期			2022年12月期			
	第3四半期 (2021年1月～9月)			第3四半期 (2022年1月～9月)			
	金額	構成比	前同比	金額	構成比	前同差	前同比
ソフトウェア開発事業	8,987	78.7%	+13.0%	9,778	78.9%	790	+8.8%
通信ソフトウェア開発	2,389	20.9%	+51.1%	2,067	16.7%	▲321	▲13.5%
通信基盤	2,055	18.0%	+73.1%	1,783	14.4%	▲271	▲13.2%
その他通信	333	2.9%	▲15.0%	283	2.3%	▲50	▲15.0%
制御ソフトウェア開発	1,931	16.9%	▲8.4%	2,278	18.4%	346	+17.9%
車載	955	8.4%	▲22.8%	1,065	8.6%	109	+11.5%
その他制御	976	8.6%	+12.0%	1,213	9.8%	236	+24.2%
業務ソフトウェア開発	4,666	40.9%	+9.5%	5,432	43.8%	766	+16.4%
金融	1,235	10.8%	▲0.1%	1,980	16.0%	744	+60.2%
公共	669	5.9%	+7.6%	845	6.8%	175	+26.2%
情報通信	746	6.5%	+9.7%	642	5.2%	▲104	▲14.0%
製造	694	6.1%	+31.8%	555	4.5%	▲138	▲20.0%
流通	451	4.0%	+42.4%	535	4.3%	83	+18.5%
医療	387	3.4%	▲12.2%	334	2.7%	▲53	▲13.8%
その他業務	480	4.2%	+10.2%	540	4.4%	59	+12.4%
サービス事業	2,413	21.1%	+11.7%	2,596	20.9%	182	+7.6%
ファシリティ事業	20	0.2%	▲49.6%	20	0.2%	0	+0.2%
合計	11,421	100.0%	+12.5%	12,394	100.0%	973	+8.5%

5. 参考情報（2）顧客別売上構成比

顧客別売上構成比（前年同期比較）

※敬称略



5. 参考情報（3）プロダクトのご紹介

『Cyber Position Navi Plus』

工場・倉庫からオフィスまで

誤差10cmの高精度で

人やモノの動作を正確に把握

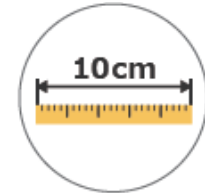
屋内位置情報ソリューション

Cyber Position Navi Plus

ーポジナビプラス



- ⊕ 小規模から大規模空間までポイントで位置がわかる
- ⊕ 詳細な移動軌跡から動線解析できる
- ⊕ ヒートマップで、より視覚的にわかる
- ⊕ 滞在時間、移動時間がわかる



誤差10cm

10cm～50cmの精度で
人やモノの位置を把握



動線・解析

収集した動線を解析することで
業務の効率化を実現



屋内建物

工場・倉庫、店舗、オフィス、
病院などあらゆる場所で利用可能

工場・倉庫



動線解析で作業員の動きを効率化

日常的に行っている作業も位置情報を収集することで“無駄”や“改善点”を発見できることも。動線解析で作業員の“あたりまえ”を改善し作業の効率化ができます。

小売・店舗



ヒートマップで商品配置の最適化

販売側のおススメ商品と来店客の“買いたい”と思う気持ちはマッチしないことも。ヒートマップで可視化し商品配置を最適化することで売上アップが見込めます。

医療機関



医療スタッフ・患者の見える化

常に緊張感と多忙を極める医療現場。医療スタッフと患者の安心・安全のため病室の滞在時間の把握、人と人の対面時間記録ができます。

サステナビリティへの取り組み

当社では、事業活動・企業活動を通じて様々な社会の課題解決に向けた取り組みを実施しております。
また、「環境経営方針」を設定し、社員にSDGsの意味や重要性を伝え、身近な活動への協力を呼びかけています。

環境経営方針：『「環境」と「暮らし」をICTで支える』



社内での取り組みの一例

働き方改革



自社プロダクトを活用したリモート環境による在宅勤務の徹底やオンライン会議システムを利用した積極的な営業活動、採用活動、社員教育を実施し、ニューノーマルな働き方を実現しました。

資源の削減



お客様のデジタル化や業務効率化などを推進すると共に、社内では帳票の電子化やシステムを利用した資産管理を実現し、紙資源の削減や工数の削減に繋がりました。

5. 参考情報（5）業績予想

2022年12月期 業績予想

(単位：百万円)

	前期実績 (21/01-21/12)	業績予想 (22/01-22/12)	増減／増減比	
売上高	15,528	16,300	+771	+5.0%
営業利益	953	1,000	+46	+4.8%
営業利益率	6.1%	6.1%	—	—
経常利益	1,031	1,020	▲11	▲1.1%
経常利益率	6.6%	6.3%	—	—
当期純利益	704	700	▲4	▲0.7%
当期純利益率	4.5%	4.3%	—	—
1株当たり 当期純利益	87.86円	87.27円	▲0.59円	—

通期の業績予想につきましては、2022年2月10日発表のとおりで変更ありません。

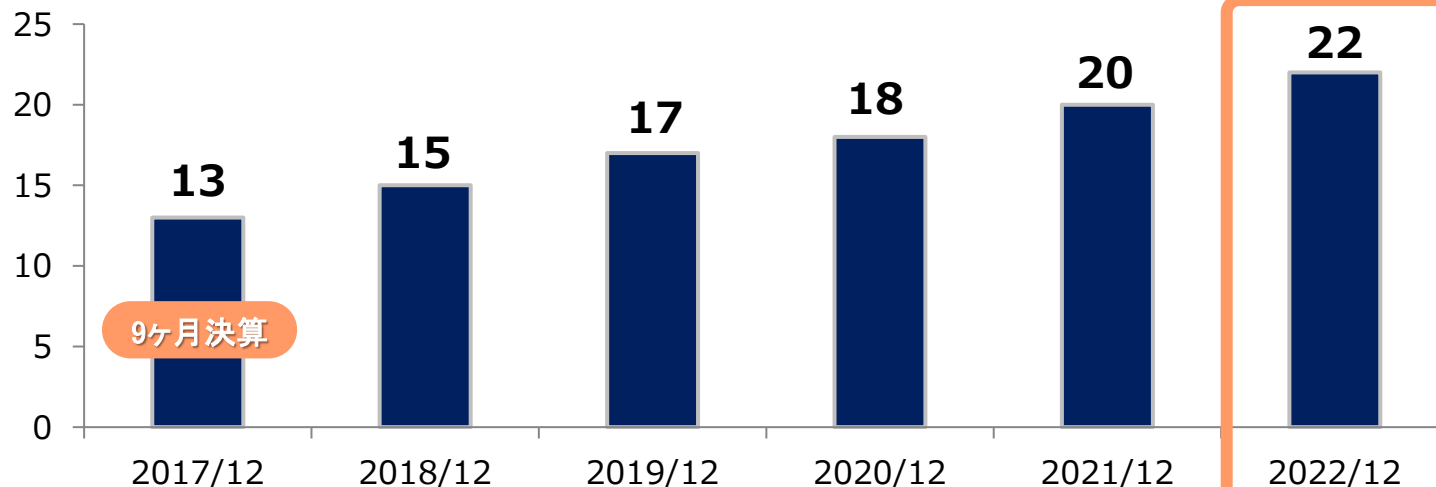
5. 参考情報（6）配当の状況

配当の状況

「安定した配当」を継続して実施

増配の継続、配当性向と純資産配当率の向上

(単位：円)



	2017年12月	2018年12月	2019年12月	2020年12月	2021年12月	2022年12月
1株当たり配当金	13円	15円	17円	18円	20円	22円
配当金総額	104百万円	120百万円	136百万円	144百万円	160百万円	176百万円
配当性向	32.7%	28.8%	24.4%	26.3%	22.8%	25.2%
純資産配当率	2.5%	2.7%	2.8%	2.7%	2.8%	2.8%

予想

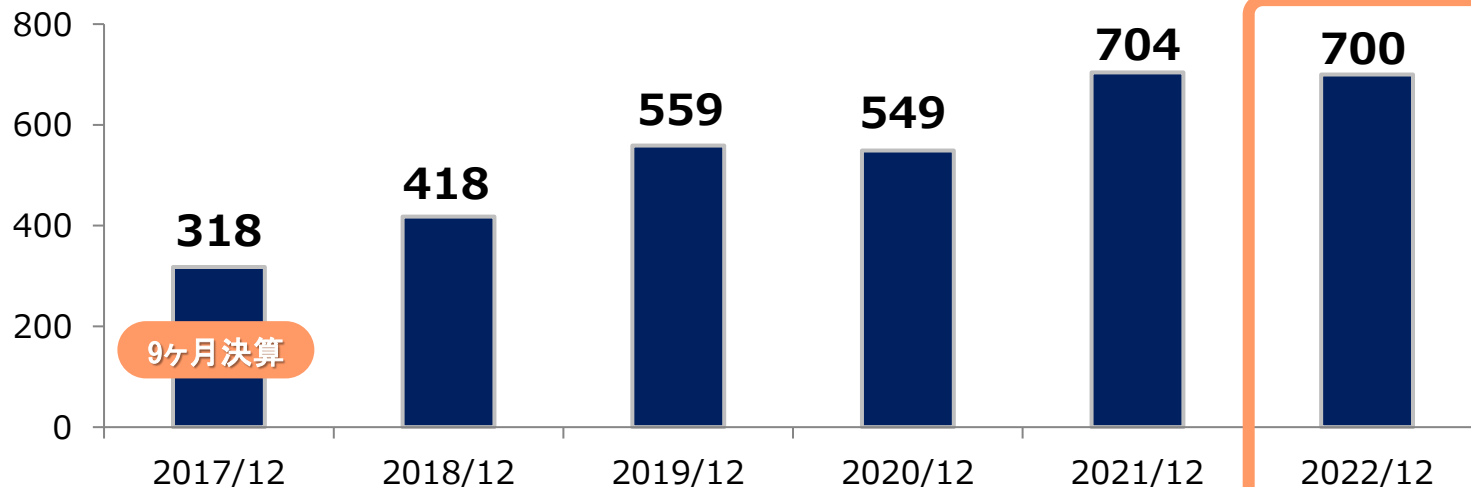
5. 参考情報（7）自己資本当期純利益率 *Cyber Com*

自己資本当期純利益率（ROE）

収益確保によるROE向上

本業での収益確保（営業利益計画の達成）、ROEの向上

（単位：百万円）



	2017年12月	2018年12月	2019年12月	2020年12月	2021年12月	2022年12月
営業利益	444百万円	608百万円	746百万円	827百万円	953百万円	1,000百万円
当期純利益	318百万円	418百万円	559百万円	549百万円	704百万円	700百万円
1株当たり 当期純利益	39.74円	52.16円	69.75円	68.45円	87.86円	87.27円
ROE	7.6%	9.3%	11.5%	10.4%	12.2%	11.1%

予想

5. 参考情報（8）中期業績予想

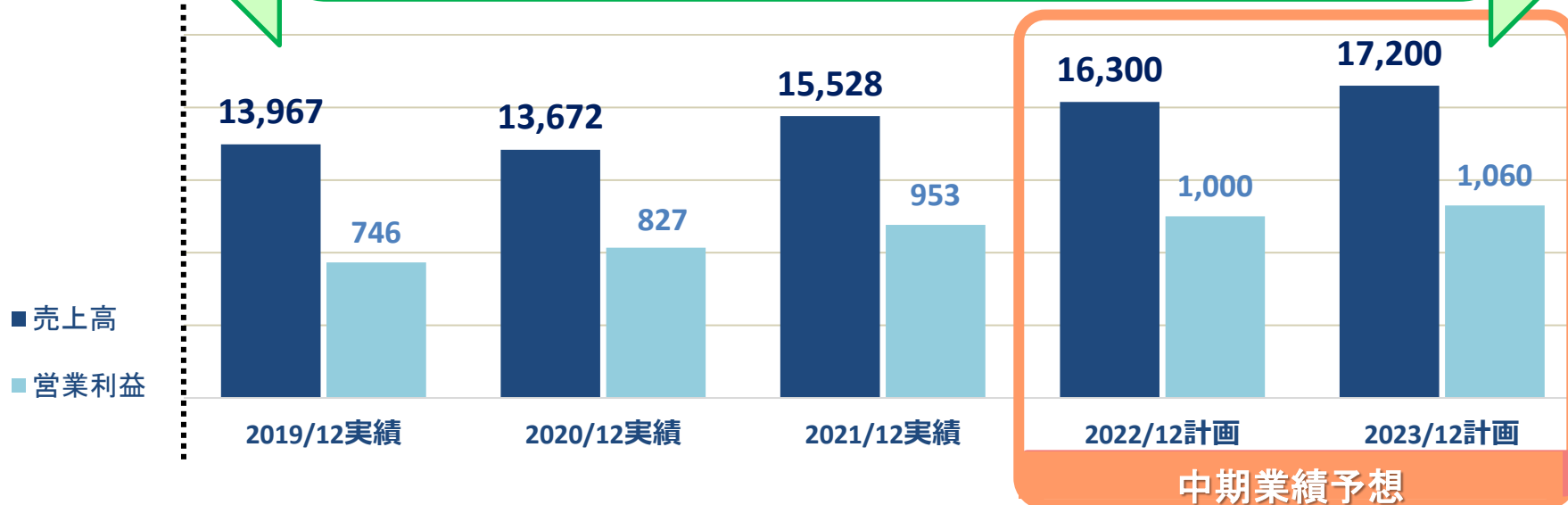
中期業績予想

※現在の中期計画（2021年～2023年）に合わせて記載しております。

（単位：百万円）

	2019年 12月期実績	2020年 12月期実績	2021年 12月期実績	2022年 12月期計画	2023年 12月期計画
	中期計画：2021年～2023年				
売上高	13,967	13,672	15,528	16,300	17,200
営業利益	746	827	953	1,000	1,060
（営業利益率）	5.3%	6.1%	6.1%	6.1%	6.2%

2019年～2023年までの
平均成長率(CAGR)予想：売上高+5.3%、営業利益+9.2%



5. 参考情報（9）会社概要

会社プロフィール

名称:	サイバーコム株式会社 Cyber Com CO.,Ltd.
所在地:	本店 宮城県仙台市青葉区一番町2-7-17 朝日生命仙台一番町ビル 横浜本社 神奈川県横浜市中区本町4-34
設立:	1978年12月4日
代表者:	代表取締役社長 渡辺 剛喜
資本金:	3億99百万円
社員数:	1,238名（2022年9月末現在）
事業内容:	ソフトウェア開発事業、サービス事業、ファシリティ事業

2022年12月期の主なニュース

日付	内容
2022/10/19	ニュースリリース「コールセンター/CRM デモ&コンファレンス 2022 in 東京に出展」を発行
2022/04/04	市場再編により東京証券取引所スタンダード市場へ移行
2022/03/24	高精度屋内位置情報ソリューション『Cyber Position Navi Plus』を販売開始
2022/03/18	第44回定時株主総会を開催
2022/02/25	2021年12月期 決算説明会の動画を配信開始
2022/02/01	お客様が必要とするITソリューションをワンストップでご提供する『Cyber Solution Plus』シリーズを販売開始

5. 参考情報 (10) これまでの歩み

これまでの歩み



サイバーコムテクノロジーで社会に貢献する



当資料の利用に関して

当資料は、投資家の投資の参考となる情報提供を目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。また、業績予想に関する記述は、当社が当資料発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。